

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第132号

nanae historical  
museum collection

## ななえ古写真物語

VOL. 132

### ある建設風景

日本シリカブラック会社か？

昭和27年頃か

大沼地区



かつて、当館で所蔵している古写真のうち、大沼地区を写したものばかりを集めて、大沼国際セミナーハウスや大沼国際交流プラザで、ちょっとした展示会を催させて頂いたことがあった。中には、こちらも、いつ、どこで撮影されたものか見当もつかない写真もあったのだが、まれに観覧者から、貴重な意見を頂くこともある。今回は、そんな一枚の紹介である。

まずは、写真なのだが、後背にある山は、稜線やスキー場のために伐採された斜面があることから、吉野山と考えられ、この写真が大沼地区で撮影されたのは間違いない。わからないのは、中央に建設中の建物で、櫓を組みクレーンまで使って建てられているのだから、かなり大掛かりな建物で、ホテルか旅館なのだろうか推測した。さらに年代がよくわからない。手前にみえる横長な建物には、看板がついており、右読みで「親子井」「天井」の文字が確認できるし、さらに手前の店らしき建物には、「サッポロビール」の文字も確認できる。当初は、大沼にあった展望塔（ピチャリ第22号参照）から撮影したものとばかり考えていたが、それであれば戦中であるから、ビールの看板には違和感を覚えていた。

そんな折、展示会でこの写真を見た方から、「これは、くろんぼ工場を建てている写真だと思う。」という有力な情報を頂いた。私は、くろんぼ工場?? と頭をひねっていたのだが、詳しく聞いてみると、昔、大沼にブラックシリカを作る工場があったようで、この工場に入った作業員が、帰る時には、みんな黒くなって出てくるから「くろんぼ工場」という俗称で呼ばれていたという。

ところで、ブラックシリカは、日本では上ノ国町でのみ産出するといわれているので、その話を聞いた私は、大沼に工場があること自体、半信半疑でいたのだが、その後、七飯町史を調べてみたら、七飯町における昭和27年時の製造業者一覧のセメント石材加工、碎石の項目に「日本シリカブラック会社（大沼）」と記載されていた。しかし、この工場については、それ以外の記載はなく、存在したことは確かなのだが、なぜ大沼で開業したのか。という疑問には答えてくれなかった。その後、気がむいた時に、探ってはいるのだが、やはり詳しい情報にたどり着けず、断定には至っていない。

今となっては、もっと詳しく話を聞いておけばよかったと悔やまれる一枚の紹介である。

**8日** 東大沼小の3・4年生が、昔の道具と七重官園の成立を学習するため、来館しました。特別に茅葺民家の中に上がってもらいと、周りをキョロキョロと見回します。今の家の中とは異なり、見慣れない道具がたくさん置いてあるからでしょうか。学芸員が、何に使う道具か当ててもらおうクイズを出します。例えば「火のし」。現在のアイロンに相当しますが、形や手触りから想像をすることは、なかなか難しい様子。歴史館では、実物を見て触れる経験を通して、想像をする大切さを伝えていけたらと思っています。



**17日** この日は、「ななえを学ぼう」と題したジュニア探検クラブの活動を行いました。歩いたり、バスで移動したりしながら、町内に散在する巨木や史跡の見学です。北海道で最も大きいといわれるイチヨウの木や、幹に洞があるトチノキ、箱館戦争の跡地や江戸時代からある地蔵など、ふだんは気にもとめないけど、身近にある歴史探しをした一日。元気な子どもたちは走り回っていましたが、自分の住む町を見る目が、少しでも広がることを願っています。



## 季節に添う本。

銀花（ぎんか）・銀雪（ぎんせつ）・撓雪（しおりゆき）。これらは、雪を表す言葉です。学習室にある写真の二冊は、中谷宇吉郎の本。雪の研究に生涯を捧げた宇吉郎は、優れた随筆家でもあります。師弟関係だった物理学者の寺田寅彦からは、大きな影響を受け、度々、文中で登場します。詩情があり、ささやかながら、秩序溢れる文章に心ゆくまで触れることが出来る本です。季節感を言葉からも感じてもらえる選書を、来年もまた続けていきます。



### 編集後記 ~tawagoto~

12月に入った途端に雪が降り始めた。昨日までアスファルトむきだだった路面が、一転して白の絨毯となり、激しい気温差に、体の方がついていけない。おそらく、そう感じているのは、私だけではないと思う。今年を振り返ってみると、季節を問わず、乱高下の激しい、極端な天候だったように思う。自然災害が多かったこともあり、2018年を象徴する漢字は「災」。来年は明るい話題が多くなることを願うばかりだ。（やまだひさし）

## 1月の予定

1	火	年末年始休館日
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	企画展開催中
7	月	
8	火	
9	水	夜の博物館
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	ピチャリ133号発行予定
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	ジュニア探検クラブ
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

1月1日～1月5日は休館です。

### 標本の美しさ

年に2回ほど行う標本の防虫剤を換えるとき、思わず目を奪われるのは昆虫が放つ整然とした美しさです。



~ピチャリ~  
**Pichari** 第132号

平成30年12月20日発行  
七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3  
電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182  
E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp